

(様式第 3 号)

令和 年 月 日

大分市上下水道事業管理者 様

住所又は所在地

商号又は名称

代表者職・氏名

誓約書

私は、大分市暴力団排除条例の趣旨を理解し、下記事項のいずれにも該当しない者であることを誓約します。

なお、誓約に反する事項が明らかになった場合、参加資格の取消し、契約の解除等、貴職が行う一切の措置について、異議は申し立てません。

記

1. 計画的又は常習的に暴力的不法行為等を行い、又は行うおそれがある組織（以下「暴力的組織」という。）であるとき。
2. 役員等（受注者が個人である場合にはその者を、受注者が法人である場合にはその法人の役員（役員として登記又は届出がされていないが、事実上経営に参画している者を含む。）をいう。以下同じ。）が、暴力的組織の構成員（構成員とみなされる場合を含む。以下これらを「構成員等」という。）となっているとき。
3. 構成員等であることを知りながら、構成員等を雇用し、又は使用しているとき。
4. 暴力的組織又は構成員等であることを知りながら、その者と下請契約又は資材、原材料の購入契約等を締結したとき。
5. 構成員等である事実を知らずに、構成員等を雇用している場合又は暴力的組織若しくは構成員等である事実を知らずに、その者と下請契約又は資材、原材料の購入契約を締結した場合であって、当該事実の判明後すみやかに、解雇に係る手続きや契約の解除など適正な是正措置を行わないとき。
6. 自社、自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力的組織又は構成員等を利用したとき。
7. 暴力的組織又は構成員等に経済上の利益又は便宜を供与したとき。
8. 役員等が、個人の私生活上において、自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的若しくは第三者に損害を与える目的をもって、暴力的組織若しくは構成員等を利用したとき、又は暴力的組織若しくは構成員等に経済上の利益若しくは便宜を供与したとき。
9. 役員等が、暴力的組織又は構成員等と密接な交際を有し、又は社会的に非難される関係を有しているとき。